



# 東稲ニュース

## 祝 20 周年記念新春号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成26年1月10日発行  
発行責任者 安次峰 暁  
編集責任者 別処尚志  
E-mail:satoru\_ajimine@hotmail.co.jp  
http://homepage2.nifty.com/35292/

### 会長挨拶

東久留米稲門会会長 安次峰 暁

あけましておめでとうございます。

昨年は当会の活動にご支援とご協力を賜りまして心より御礼を申し上げます。  
なお本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は地球規模で未曾有な自然災害が各地でありました。今年はそのような災害のない、良い年であることを祈っております。

ところで、東久留米稲門会は今年創立20周年という節目を迎えます。前号の「東稲ニュース」でお知らせしましたように20周年記念行事を催す予定にしております。又、「記念誌」の発行についても作業を進めております。会員の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

この度は新体制になってはじめての新年を迎えることになりましたが、20周年実行委員長、事務局長が多忙な中での奮闘と役員各位の力強い援護によって事業の運営が円滑に進んでおります。又、「東稲ニュース」については編集責任者2人による頑張りによって、20周年の先陣を切って新春号を発刊することができました。頭が下がる思いです。

「少子高齢化」が叫ばれて久しいわけですが、稲門会の活動が地元での私たちの「集う場」として、ますます重要なものになってくるものと思います。よりよい「場」作りを進めていきたいと思っております。会員の皆様およびご家族の積極的なご参加をお待ちいたしております。

年頭に当たり皆様がたのますますのご健勝とご繁栄をこころよりお祈り申し上げます。



### 東久留米稲門会 つみ重ねて20年

20周年記念事業実行委員長 渡辺 真司

あけまして おめでとうございます。2014年、東久留米稲門会20周年の幕開けです。  
安宅武一初代会長をはじめとし、歴代会長・役員の方々の大きなご努力と会員の皆様のご支援により20年を迎えることができました。ここに会員みなでその足跡をふりかえり、称え、喜び合い、そして未来へむかい前進するスタートとして参りたいと存じます。すでにご案内のとおり、この1年を通じて祝いの記念事業を展開して参ります。

11月のメインイベントへむけて様々な行事を計画して参ります。皆様、奮ってご参加下さい。

その第一弾として太極拳部門が「太極拳をためしてみよう」の合言葉のもとに、一緒に体を動かさせてみるイベントを企画してくれました。現在企画中のイベントをご紹介します。

◎太極拳 リーダー：鮎貝盛和 3月15日(土) 成美教育文化会館 「初めて太極拳」詳細は参照

◎ウォーキング リーダー：東海俊孝 5月下旬

◎野球早慶戦応援・観戦 リーダー：選考中 6月初旬

◎映画鑑賞会 リーダー：米光慶二郎 計画中 乞うご期待

◎文化展覧会 リーダー：橋優治 11月23日～24日 成美教育文化会館 会員の力作  
<絵画・俳句・短歌・川柳・書・写真・手芸・絵手紙・花・・・etc.>

◎記念誌発行 リーダー：別処尚志 現在進行中 11月刊行予定

◎メインイベント「20周年記念コンサート&パーティ」 11月24日(祝)

記念コンサート：リーダー：大矢真弘 ニューオールリズジャズクラブ他を予定

記念パーティー：リーダー：高橋哲男

## 会の告知板

### 【部会予定】

1月12日(日)～17日(金)	国際書画交流会展(書道部会後援)	東京都美術館(上野)	2階 第1展示室
1月18日(土)	芸術鑑賞会	早稲田大学交響楽団ニューイヤークラフト2014	6:30 練馬文化センター
1月26日(日)	東久留米稲門会新年会		17:00 成美教育文化会館
2月2日(日)	役員会		16:00 生涯学習センター
2月27日(木)	映画鑑賞会『愛の調べ』		14:00 成美教育文化会館
3月15日(土)	太極拳『初めて太極拳』(20周年記念事業 初心者教室)		10:00 成美教育文化会館
4月20日(日)	東久留米稲門会 平成26年度定期総会		成美教育文化会館
5月8日(木)・9日(金)	旅行部会		(東海方面予定)

### 【大学・校友関係】

1月6日(月)	三多摩地区幹事会・事務局長会	
3月8日(土)	校友会代議員会	早稲田大学大隈講堂

### 【会の報告】

#### ◎三多摩支部大会報告

11月10日(日)早稲田キャンパス大隈小講堂にて校友会三多摩支部大会が開催された。第一部式典では、田原三多摩支部長の開会挨拶の後、鎌田総長、福田校友会代表幹事のあいさつに続いて、三多摩支部の今年度の活動が報告された。第二部記念講演は出井伸之名誉博士による「世界から見た日本」であった。

出井博士は、「WASEDA VISION150」に取り組む際に心がけるべきは、大きい早稲田を残すこと(過去の延長線)も大切、小さな早稲田を育てること(新しいものを作っていく)も大切。ミクロと巨視、すなわちミクロは現在、巨視は時間・歴史、これら両方の見方が大切であると述べ、4冊の本『文明の崩壊上・下』(ジャレド・ダイヤモンド著)、『文明の衝突』(サミュエル・ハンチントン著)、『最強国の条件』(エイミー・チュア著)、『100年予測』(ジョージ・フリードマン著)を紹介された。その上で、一国で一文明は世界で唯一日本だけであることを誇りにしてよい。日本の現状を憂うとき、日本はこれからどこへ行くのか、どういう国(文明)にするのかを考えるべき。その際に巨視的視点が大切であって、次の日本に対して早稲田はどうすべきかと考えることが大切、と話されたことが大変印象に残った。

別処尚志記

#### ◎23区支部、三多摩支部合同会長懇話会報告

東京都23区支部、東京三多摩支部合同会長懇話会が11月29日(金)18時30分より早稲田大学大隈記念タワー15階「西北の風」にて開催された。23区支部より25名、三多摩支部(北部ブロック8支部、中部ブロック8支部、南部ブロック8支部)より27名、大学より鎌田総長はじめ4名出席。安次峰会長出席。

#### ◎役員会報告 平成25年度第4回役員会が12月8日16:00より生涯学習センターで開催されました。議事録概要

1. 大学、校友会・近隣稲門会・三田会関係催事への出席報告及び参加予定の確認
2. 1月26日の「東久留米稲門会新年会」役割分担と確認 16:00集合 17:00開演
3. 20周年記念事業各チームの進捗状況確認 記念ウォークリーダーを森田さんから東海さんへ変更
4. 50代60代会員増強活動の結果3名の新加入あり(1名は再入会)。詳細は東稲広報室に記載
5. 平成26年度定期総会講演会の講演者、原武史 明治学院大教授(86年政経卒 政治学者)に決定
6. ホームページリニューアル、菊池、村上、安次峰、高橋、別処、小山田の6名で4月までに検討
7. 部会・サークルの活動報告と今後の予定発表(部会予定及び部会報告に記載)
8. その他 ポストマン変更: 森田さん担当地区を高橋事務局長担当に 部会長変更: ウォーキング部会長を東海さんに変更 次回役員会 2月2日(日)16:00～生涯学習センター創作室



20回WK 懇親ゴルフ 稲門会 12名、三田会 9名の精鋭

### 【部会報告】

#### <ゴルフ部会>

昨年の秋シーズンは11月6日に熊谷GCで東久留米三田会との対抗戦方式の懇親コンペを実施。この対抗戦は平成16年に始まり今回が20回目の記念大会にあたり、夕方の鮮乃庄での表彰式・懇親会まで盛り上がり賑やかな一日となりました。競技成績は、個人戦では当会上原さん・宮井さんがグロス86、ネット71.6で1・2位を占めましたが、両会ネット上位6名ずつの合計で競う団体戦は、僅差でしたが三田会の13回目の勝利となりました。

又12月7日に、稲門例会ゴルフを玉村ゴルフ場で開催。9人参加の内7名がグロス100を切るハイレベルとなりましたが、最近復調気配の清水さんがネット75で優勝。本年も例年同様4回のコンペを予定していますが、三田会からは、現在年2回の合同ゴルフ会の回数を増やそうとの提案もあり、ますます交流が盛んになりそうです。昨年の新規参加者は、新潟県南魚沼市で仕事されている長東さん1名でしたが、稲門諸兄の多数の参加を期待しております。

伊東 毅記

#### <旅行同好会>

第4回旅行同好会は昨年11月10日(日)～11日(月)東北応援旅行第2弾として「晩秋の会津の旅」を計画、男性9名、女性7名の16名が参加、空模様の怪しい中、定刻より15分早い7:15分にいつもの中型サロンバスで市役所前を出発した。和光ICから東北道を行き福島西ICを出て東山温泉まで約300キロ以上の行程である。車内では会津若松及び喜多方周辺の地図、喜多方老麺マップなど配られる一方、積み込んだ



福島カントリークラブで昼食

ビールやつまみで車内は宴会モード和気藹藹、途中3か所ほどトイレストップ、福島西ICを出て12時頃、福島カントリークラブに到着、ゴルファーに交じって弁当の昼食、土湯を通り磐梯吾妻レークラインを走行、紅葉の残る中津川渓谷を車窓から眺め雨上がりの五色沼を散策、生憎磐梯山の雄姿は見られなかったが裏磐梯を経て磐梯ゴールドラインへ、途中会津の銘酒栄川酒造へ立ち寄りショッピング、17時頃東山温泉の奥まった宿東山第一ホテルに到着。東山温泉は奥州三楽境の一つに数えられた名湯で、長旅の疲れを癒してくれた。風呂上がりの一杯は至福の時、広間の車座での宴会は日本の温泉文化、良くぞ日本に生れけりである。

2日目有志で早朝散歩、川下に有形文化財の宿「向瀧」を発見、上級会津藩士の保養所であったと云う、多少金額を出してもこういう所に泊まりたいものだと考えが一致した。

朝食後8:00出発まずは鶴ヶ城へ、ここでボランティアガイド眞船さんの案内により城内を見学、説明の合間には土井晩翠の「荒城の月」を共に歌い、写真を撮って貰ったりして次の飯盛山へ15分程、現在は有料のエスカレーターで簡単に白虎隊の墓所へ行ける。とらぞう（土産店）のガイドによる白虎隊の悲話を聴きながら当時を偲ぶ、しっかりお土産も買って蔵の街、ラーメンの街喜多方へ向かう。ここは各人自費で好みのラーメンを食すことになっていたが、殆どが「老麺上海」だったようだ。小雨模様の肌寒い中、いよいよ大



鶴ヶ城でガイドさんと



鶴ヶ城にて記念撮影

内宿へ。江戸時代の南会津と日光をつなぐ山間に造られた宿場町、現在も茅葺き屋根の民家が並び、ネギそばや地元食材を使った田舎料理を提供している。約1時間半、雨は今冬の雪に変わってきたが、フリータイムを取り三々五々雪中大内宿を楽しむ。15:00頃大内宿を出発、国道289号線を行き白河ICから東北道へ、途中上河内SAで釜めしを積み込み、蓮田SAへ寄り和光ICを出て19:45東久留米にほぼ予定通り到着した。

今回は昨年の南三陸に続いて会津の旅でしたが、皆さん沢山お土産を買い被災地に多少は貢献できました。今回も見所満載、何よりも仲間同士気安さで楽しい旅が出来ました。

第5回旅行同好会は5月8日(木)～9日(金)、東海方面を計画中です。

平山正経記

#### <女性サークル>

穏やかな晴天に恵まれた昨年の11月14日(木)、女性5名で「朝倉彫塑館」を訪れました。日暮里駅から徒歩5分ほどにある「朝倉彫塑館」は、彫塑家朝倉文夫の死後3年たった昭和42年に、自宅兼アトリエとして使用していた建物を故人の遺志として公開し、朝倉作品の展示館としたものです。昭和61年には台東区へ移管され台東区立朝倉彫塑館となり、現在は建物が国の登録有形文化財に、中庭と屋上庭園が国の名勝に指定されています。このほど4年半に及ぶ建物の保存修復工事が終わり10月29日にリニューアルオープンしたところなので、次々と見学者が訪れていました。

靴を脱いで上がるとすぐにアトリエがあり、代表作の「墓守」や早稲田大学のシンボル「大隈重信像」「市川團十郎像」など有名人物の像、また猿、犬、猫の像などがありました。どれも写実的で素晴らしい作品でした。朝倉彫塑館の中央には、池に巨石と木々を配した朝倉自ら設計した日本庭園があり、池を囲むようにして建てられたそれぞれの部屋から見ると、とても趣のある眺めでした。



朝倉彫塑館前にて

三階建ての屋上には日本最初の屋上庭園があり、オリーブの木や草花が植えられていて、暖かい日差しのもとしばらく遠くまでの眺めを楽しみました。猫好きの朝倉は猫の像でも有名ですが、屋上から下りる途中の小部屋に並べられた猫たちの表情は、とても豊かで生き生きとしていました。

近くの和食店で昼食を済ませた後は、徒歩2,3分の所にある「谷中銀座」と呼ばれる商店街を散策しました。そこには60軒もの商店が立ち並び、人通りも多く活気があり各自いろいろ買い物などをして楽しい時間を過ごしました。

吉川明美記

#### <書道部会>

書道部の最大のイベントは2年に1度開催する東久留米稲門会書道部の作品展です。昨年の11月15日(金)より17日(日)までの3日間成美文化会館1階のギャラリーにて開催をしました。15日は我が稲門会の映画上映会と重なり多数の稲門会メンバーや、市民の皆様にご来場頂き鑑賞いただきました。作品展までの2年の間、毎月部会が開かれ各自が書いた作品を掲示し、厳しい批評にさらされながら自分の



11月15日 稲門書道展

書をまとめていきます。ご高覧頂いた方はお分かりいただけたと思いますが、超師範クラスの御三方の芸術作品から、ベテラン書道部員の力強さ、練達の域に達した作品、アート性に溢れる作品や、なかなか上手くなれない私の様な凡作まで出品出来る次第です。というわけで、皆様も安心して、気軽に書道部例会にお出かけください。先輩方の素晴らしい作品に触れられるだけでも、ヘタは下手なりに大いに楽しめますよ。(例会は原則第二日曜日午後1時からです)

又、新年そうそう、上野の東京都美術館において当部会後援による国際書画交流会展が開催されます。是非足をお運びください。(14日は当部会の受付担当日です。)

国際書画交流会展 1月12日(日)～17日(金)9:30～17:30 東京都美術館(上野) 2階第1展示室

小野泰右記

#### <囲碁部会>「秋の合宿」

囲碁部会・秋の合宿研修囲碁大会が11月30日(土)～12月1日(日)に行われました。近年定宿化した奥秩父小鹿野町・囲碁の温泉宿越後屋旅館の予約の関係で、今年は例年より1週間遅れた合宿となりました。西東京稲門会囲碁部会からの参加者2名を加えた9名の合宿で、囲碁大会は午後から翌朝にかけて8局の対局となり、温泉入浴もあわただしいややハードな戦いでしたが、優勝・苺草、準優勝・西村、第3位・秋本(西東京)という結果になりました。なお、西村・秋本の両氏は金賞を併せ獲得しました。



囲碁部会 合宿参加の9名

優勝・苺草、準優勝・西村、第3位・秋本(西東京)という結果になりました。なお、西村・秋本の両氏は金賞を併せ獲得しました。



合宿での対局風景

小鹿野町の紅葉は見頃をやや過ぎており、また合宿 2 日目の 12 月 1 日午後に早明戦ラグビーがあって、奥秩父の宿を急ぎ出発したい観戦希望者があるなど、あわただしく若干もの足りない点もありましたので、来年度は例年通り 11 月の合宿となるよう、1 年先の宿の予約をしてきました

「早慶対抗囲碁大会」

オール早慶囲碁大会が 12 月 7 日に市ヶ谷日本棋院で行われました。大会は、一部・OB 無差別クラス、二部・OB ハンディ戦クラス、

三部・現役囲碁部員、の三部構成の戦いで行われ、東久留米稲門会からは、無差別クラスに苺草・小仁井両氏が参戦しました。結果は、無差別クラスは善戦したものの、ハンディ戦クラス・現役囲碁部の 2 クラスが大敗し、昨年が続いて早稲田の連敗となりました。来年は頑張ってください！ 苺草正守記

<俳句部会>

11 月 17 日(日) 第 160 回句会 於：商工会館

兼題：「おでん」、「霜夜」、

夜具そっとかけなおしやる霜夜かな	川島知子
参道の骨董市や神の留守	三田畔巢
おでん鍋句を書きとめる箸袋	棚野愛子
おでん屋の憂国談義意気高し	神田尚計
身の丈の暮し今夜はおでんらし	三田畔巢

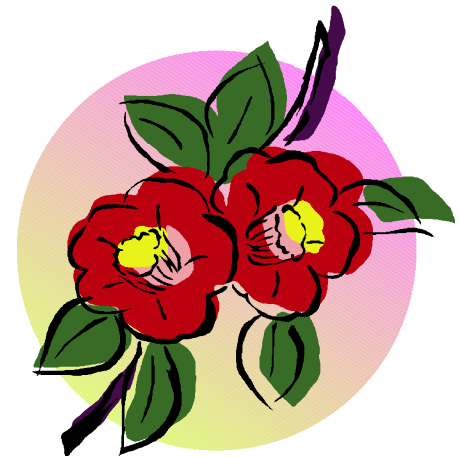


12 月 15 日(日) 第 161 回句会 於：生涯学習センター

兼題：「凧 (木枯)」、「冬椿」、

鮫鱈の土鍋の蓋の重さかな	棚野愛子
禅寺に凧と紅さす寒椿	大久保泰司
大利根の枯野の堤牛遊ぶ	藤田貞夫
咳ひとつこぼし冬帽遠ざかる	神田尚計
落人の末裔の郷とや冬椿	神田尚計
凧や更け行く夜半の救急車	川俣栄一
凧や空き家の庭に傘一本	神田尚計
病む友の短き便り冬椿	川島知子
冬帽子老の福耳ちょっと見せ	川俣栄一

※三点句以上



12 月 15 日(日)、句会の後、東久留米駅北口「とり鉄」にて盛大に忘年会 (13 名参加) 橘 優治記

<カラオケを楽しむ会>

2013 年もあと 3 日を残すばかりとなった旧暦 28 日、恒例の「カラオケを楽しむ会」が、6 時から、いつもの東久留米駅北口の「オンチッチ」で開かれました。夏の会からアッという間に時が過ぎ、多忙を極める年末にもかかわらず、前回は



上回る歌侍 16 名の参加をいただき、歌い納めの集いとなりました。

当会恒例となっている始球式は、馬場先輩の「ひばりの佐渡情話」、これを皮切りに、時間のある人、そうでない人それぞれが腕に磨きをかけた演歌、フォーク、懐メロ、軍歌、新曲などあらゆるジャンルの曲が披露され、飲むほどに、酔うほどに拍手とヤジが飛び交い、大いに盛り上がり、楽しいひとときが過ぎていきました。この時も、村上さんの名司会により、スムーズに議事が進行し、参加者皆さんそれぞれ 3 曲ずつを歌い上げ、9 時半を過ぎたところで、中締め「早稲田大学校歌」が入り、お互い万感をこめて、声高らかに熱唱、「オンチッチ」さんにもエールを送り、ひとまずピリオドを打ち、名残惜しい数名は、なお残業に勤しみ、11 時前には、御開きとなりました。

外に出てみれば、師走の寒さが募り、気温は 2°、星が冷たく光り、街の灯りが輝きを増し、肩をすぼめながら、「どうぞ良い年を」、「来年もよろしく」とそれぞれ挨拶を交わしつつ、駅を背に家路につきました。なお、今回も関係の皆様方に大変お世話になりました。厚くお礼申しあげます。



12 月 28 日 オンチッチにて歌い納め

当日の参加者（敬称略、歌の順）と曲目は次のとおり。

- ① 馬場 清彦 ひばりの佐渡情話、女の港、車屋さん
- ② 帆角 信美 中の島ブルース、宗右衛門町ブルース、北の漁場
- ③ 平山 正徑 人生いろいろ、おふくろさん、東京ブルース
- ④ 比護喜一郎 大阪しぐれ、無錫旅情、おまえに
- ⑤ 大島 勝典 また逢う日まで、公園の手品師、神田川
- ⑥ 後藤 秀作 水割り、案山子、さざんかの宿
- ⑦ 安藤 信雄 みちづれ、王将、旅笠道中
- ⑧ 小山田朋樹 思い出の渚、涙そうそう、いつまでもいつまでも
- ⑨ 別処 尚志 昴、空の神兵、ジョニーへの伝言
- ⑩ 渡辺 真司 ブルー・シャトー、ミネソタの卵売り、亜麻色の髪の乙女
- ⑪ 高柳 康夫 きらめく星座、人生花ごよみ、しなやかに歌って
- ⑫ 村上 万里 影法師、いとしのエリー、冬の稲妻
- ⑬ 長谷山勝美 女のためいき、別れ雪、落葉しぐれ
- ⑭ 高橋 哲男 珍島物語、釜山港へ帰れ、22 才の別れ
- ⑮ 安次峰 暁 カチューシャの唄、花言葉の唄、伊豆の佐太郎
- ⑯ 井坂 宏 サン・トワ・マミー、愛燦燦、忘れな草をあなたに



高柳康夫記



## <ラグビー観戦部会>「ラグビーで新年」

明けまして本当におめでとうございます。エリート軍団筑波を乗り越え、帝京への挑戦権を獲得。スクラム良かったですね。フィールド北より相手ボールスクラム。何が起きたのかと書いていたら垣永が両手を挙げてガッツポーズ。ボール奪ってTRYしてしまった。フィールドデフェンスも良く頑張りました。福岡、竹中両WTBを擁するバックスにデフェンスラインを破らせなかった。

12日は決勝戦。帝京を倒す。スタンドで応援の部員もピッチになだれ込み、肩を組んで「荒ぶる」。そしてドームホテルで祝勝会。頼みます。先の対抗戦の経験、2日帝京に挑んだ慶応の前半戦の戦いぶりから打倒帝京の作戦が見えてくる気がします。

今シーズンは怪我人が居たりU19や全日本に選手が招へいされたりで苦しいスタート。彼らがチームに戻るとともに練習の成果は、最後の20分を耐える、あるいは得点を追加する早稲田らしさを取り戻しつつあるところに見られます。

6月2日石巻での招待試合<慶応43-5早稲田>。9月15日対抗戦<慶応20-12筑波>と好調の慶應。10月13日青学に18-24の敗戦にも「(主将の)宮川が居なかったからシャーネーな」。11月3日の明治戦は前半のビハインドをひっくり返して24-18で逆転勝ち。「俺ら筑波、明治をやっつけて、春大勝した早稲田に負ける訳にイカネー」と調子こいて上から目線で臨んだ早慶戦、招待試合の倍返しどころか7-69と泣かされて帰る羽目に。負け試合でも「慶応タックル、魂のタックル」と最後まで声の絶えない慶応ファンOBも、流石にここまでやられてしまうと静。傷心癒えぬ12月1日(国立で早明戦の日)秩父宮で帝京に0-75と傷口に荒塩をこすり付けられるような敗戦。満員の国立での最後の早明戦勝利を目指す明治「俺らに逆転勝ちした慶応に大勝してしまう早稲田、一筋縄じゃいかねーぞ」。斯くして、「デフェンスを固め、取ったボールは放さないようにFWでゴリゴリ、チャンスがあればPGでも何でも兎に角、点にする。目指すのはロースコアでの勝利」。大ざっぱな明治にしては我慢強く拘り、良く出来ました。勝てば歓喜、負けると選手にも罵声を浴びせる阪神ファンに似たところがある明治ファンOBもM3-15Wの結果に「惜しかった、頑張った、いい試合だった」とスタンドには感涙と叫声。明治には珍しい光景。



12月1日 早明戦 満員の国立競技場にて

大学選手権：プールAの帝京、Bの筑波、Dの早稲田。準決勝進出約束されたようなもの。Cは大変だ。明治は8日東海に27-26、15日慶応に20-19と一点差で2連勝。慶応は立命に26-22で勝って1勝1敗で22日熊谷で第一試合。東海を10-7下し2勝1敗。第二試合早稲田が中央に57-7と勝って帰路につこうとすると。スタンド下で突如大歓声。慶応部員だ。花園で明治が立命に10-12で敗れ、慶応の準決勝進出が決定したのだと。年越しは何年振りか。駅に向かうバスで歓喜に弾む慶応男女部員15名程と乗り合わせたので、声を掛けた「決勝は早慶戦だな」。途端に黙ってニヤニヤ。対校戦終盤蹂躪されてなお準決勝進出を獲得した慶応への祝意の一言なのだが。帝京に勝たねば決勝戦はない彼らにはキツイ言葉だったか。御免ね。

藍原昌義記

## 部会だより (50音順)

<映画鑑賞会>

『愛の調べ』 2月27日(木) 午後2:00～ 於：成美教育文化会館

今回はクラシック調の愛のドラマをお届けいたします。この作品は音楽家シューマン夫妻を映画化した伝記ものです。天才ピアニスト クララ (C・ヘップバーン) は、父の門弟ロバート・シューマンと結婚し、夫を世に出すために献身的に尽くす愛の物語です。

伸び悩む夫を支えるクララ役のキャサリン・ヘップバーンは、戦前は実力派女優として識者には知られていましたが、戦後は日本初登場。夫ヘンリー役は、ポール・ヘンリッド「カサブランカ」、ブラームス役はロバート・ウォーカー「見知らぬ乗客」と、隠れた実力者を起用しました。

監督のクラレンス・ブラウンは、大ベテランで戦前は女性の性(サガ)を描いた情炎ものが出色でしたが、戦後は歳とともに温厚になったのか、この作品を含め(例えば「仔鹿物語」など)ヒューマンな秀作を提供しました。

なお、この作品のクララ (C・ヘップバーン) のピアノを弾く音曲シーンは大御所ルービンシュタインが吹き替えました。(上映時間118分)

今回は、東久留米稲門会20周年を記念して特別企画を考えています。ご期待ください。

米光慶二郎記



<太極拳の集い> 「太極拳を楽しみましょう！」

今年20周年を迎える東久留米稲門会の記念行事の一つとして、「太極拳の集い」では、稲門会会員及びご家族とご友人の参加による「初心者教室」を3月15日(土)10時から成美教育文化会館のグリーンホールで開くことにしました。

「太極拳の集い」は平成13年9月に設立し、「楊名時の健康太極拳24式」を稽古してきましたが、最近はそのに加えて「簡化太極拳24式」の稽古も始めました。当日はそれぞれ24式の太極拳の中から、2～4式を選び、参加された皆様と一緒に太極拳を楽しみたいと考えています。

太極拳未経験者、多少心得のある方、ちょっと覗いてみようかという方等々、奮ってご参加ください。尚、稽古終了後、会場を2階の「料理・創作室」に移して、軽食を摂りながらの懇親会を予定しています。詳細はチラシをご覧ください。

鮎貝盛和記



日頃の練習成果を3月15日に

## 東稲広報室

### <新入会員紹介>

大槻 宏さん S53年理工学部、  
鈴木則子さん S48年文学部（再入会）、  
村上早苗さん 早稲田大学元職員

### <補助金入金>

基礎額と校友会費納入数割に基づく通常補助金が4万8千円、母校支援・若手交流活動に対する補助金が20万円、合計24万8千円が11月28日に校友会本部より振り込まれました。

### <部会長交代>

ウォーキング部会の部会長が、森田隆さんから東海俊孝さんに交代となりました。



## (会員リレーエッセイ) ～噴水広場～

### 西郷隆盛の魅力と生き方

小牧完次 (S41年 法)

私が学んだ鹿児島市立田上小学校は、今から138年前の明治9年4月に創立する。校舎は藩主島津忠義公の養蚕室をもらい受けて建てられた。明治9年10月、西郷南洲翁によって「田上小学」の門札が揮毫される。当時、南洲翁の住居は学校から2km程離れたところにあり学校にも数回来られた。翌年、西南戦争が起これ、田上小学は一時廃校となり、校舎も兵乱のため破壊される。明治10年、鹿児島島の城山にて50歳の生涯を西郷南洲翁は終える。

#### (1) なぜ西郷の写真は一枚もないのか？

幕末動乱の時代を生きた坂本竜馬や高杉晋作は、明治を見ることなく亡くなったが、写真は残っている。維新の三傑、大久保利通、木戸孝允はもちろん、討幕の志士として明治まで生き残り、政府の高官となった井上馨、山形有朋、伊藤博文、大隈重信、板垣退助の写真も多く残っている。西郷は極端な写真嫌いであった。それで一枚も撮らなかったので写真がない。これが現在までの定説になっている。ある面、織田信長以上にわかりにくく複雑でとらえがたい人物である。当時においては西郷を知る人物は勝海舟であると思われていた。

明治国家建設の最大の功労者が何を不満として戦争を起こしたのであろうか。そんな不可解な行動は世間一般に理解されず、西郷への非難、悪評は多かった。このままでは後世の史家の目を誤らせると、福沢諭吉は著「丁丑公論」で西郷を弁護した。西郷はそんな単純で底の浅い人間ではなかった。「その行動、考え方の原理原則がどこにあるか」を探求してみたい。西郷が32歳から37歳まで5年間にわたり、奄美大島や沖永良部島に流されていた時、持っていたのが佐藤一斎の「言志録」である。「言志録」は佐藤一斎が自らの哲学、思想、人生観を朱子学に基づいて著した1133条からなる「42歳から82歳」までの言行録でもある。その中から西郷は101条を選び出し携帯できるように、自らの行動や考えの指針としたのが「南洲手抄言志録」である。

#### (2) 勝海舟が評した西郷の大きさ

勝海舟の「氷川清話」に西郷を評した言葉がある。「坂本竜馬が西郷におよぶことができないのは、その大胆識と、大誠意とにある。おれの一言を信じて、たった一人で江戸城に乗り込む。おれもことに処して、多少の権謀を用いないこともないが、西郷の至誠はおれをして欺くことが出来なかった。おれも至誠をもってこれに応じたから、江戸城受け渡しも、立談の間にすんだ。談判になると、西郷はおれの言うことを一々信用してくれて、一点の疑念もはさまなかった。江戸百万の人間、その生命と財産とを保つことができ、徳川氏もその滅亡を免れた。」西郷の偉さを評価することで勝海舟は薩長同盟の立役者

---

である坂本竜馬の師でもあった。幕府の最後を取り仕切ったのも勝海舟である。名人は名人を知るともいう。「西郷南洲遺訓」は西郷から聞いた話をまとめたもので、多くの人に読まれている。明治維新後の西郷は倒幕を果たしたことで、敬愛する島津斉彬の恩に報いることができ、己の役目も終わったと思った。西郷の持つ古風な考え、理想主義的なもの、情を重んじる体質が明治という新時代に向かず、新政府内でも受け入れられなかった。死に対する願望が西郷の特質であった。しかしながら、「遺訓」に表れている「西郷像」を見ると、そのようには思えない。西郷の人間としての志は高く孔子、孟子レベルを目指している。

政治においても、あるべき治世の形をはっきりと持っており、そこに至るための段階も考え尽くすことができ、またこれを実行する力量も持っていた。これが「遺訓」の中に表れている西郷像といえる。西郷の本質は革命家であり、改革者である。この本質があるからこそ私学校があり、西南戦争がある。

西郷は己を強く大きくしようとした。人は大きくなろうとすれば、どこまでも大きく偉大になっていくが、腐らせて小さくなればどこまでも小さくなる。西郷は「人間は人間であることにもっと自信を持って」と言う。西郷は答える。まず心を無にして、先入観を捨てて誠意をもって、例えば論語、孟子を読み、彼らの考えや行動が自分自身にできるか試みる。そして己にどの程度できてどの程度できないかを検証して、彼らの行動ができるように修業する。西郷は人々が自分自身を高めることにもっと真剣に取り組んでほしいと願っている。それは人間であるための義務である。西郷は人間の誰しも持っている我欲「己のための欲望」に克って、この欲をコントロールすることが人の道の基本である。西郷はこれを「己に克つこと」と表現し、人が生きていくうえで人として成長するうえで「己に克つこと」がいかに大切で重要か、「遺訓」の中で説いている。

(3) 西郷のように強く大きい人間になるには、どうしたらよいか！

方法は簡単である。西郷は「どうせモデルにするなら歴史上の英雄をモデルにせよ」と説く。目指す目標は高い方がよい。西郷は一人ひとりの人間はもっと自己を成長させ、個を強くすべきであると言う。本当に強く大きな胆力を習得しようと思うならば、歴史上に登場する、織田信長の豪胆さを学ぶこと。西郷は「修業により自分の胆力がついているか否かは夢に現れるから、見た夢で確認せよ」と述べている。

西南戦争は見方を変えると義戦であった。征韓論争後、大久保はビスマルクの政治手法に倣い、国家による独裁体制を敷き強化しようとした。明治 10 年の西南戦争は、大久保政府の不当さへの抵抗であり、改革改善を求めるものであった。薩摩士族 13,000 人が行動を起こしたものである。これほどの抵抗がなければ明治政府による独裁は長く続いていたであろう。西南戦争は日本史上最後の国内戦争でもあった。それ以後は日本人同士の戦争はない。西郷側の死者 6,400 余人、政府側は 6,840 余人に及ぶ文字通りの戦争であった。この戦争は、源頼朝、足利尊氏、信長、秀吉、家康が一家一族や権力奪取のために起こした戦いとは異なる。政府に抗議するという行動が結果として戦争にまで発展した。この行為は政府を震撼させた。政府に在野の声を無視することの危険性を教え、その後の日本に国家権力や独裁者による支配国家を生み出す素地を与えなかった。我々が西郷から学ぶべきことは、「国家が栄えるのも衰退するのも、国家を運営する政治家に責任がある」こと。それにもまして、国民一人ひとりに責任がある。国家は国民のレベルに応じた国でしかない。国をよりよくしようと思うならば、我々個人個人がよりよくなろうと願うことである。西郷の思いは「一人ひとりが人の道を行い、己の個を強くたくましく発展させる」ことであった。「人生の目的は人に奉仕すること」

---

#### <編集後記>

東久留米稲門会の設立 20 周年の年が明けました。記念事業は、3 月の太極拳を嚆矢として本格化します。役員は先頭に立って取り組みますから、部会員・一般会員の皆様も各種事業に積極的に参加されて、大いに盛り上げましょう。この 74 号を印刷する 5 日は「小寒」で寒の入り、あと 10 日もすれば「大寒」ますます寒さが厳しくなる時期に入ります。読者のみなさん、風邪を引かぬよう御自愛ください。